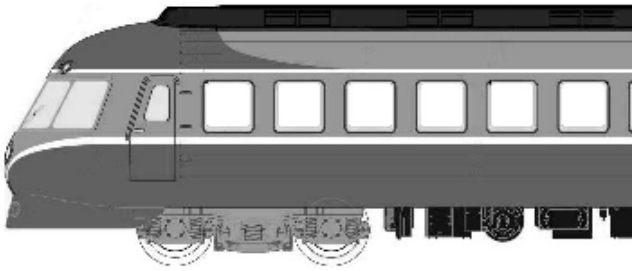
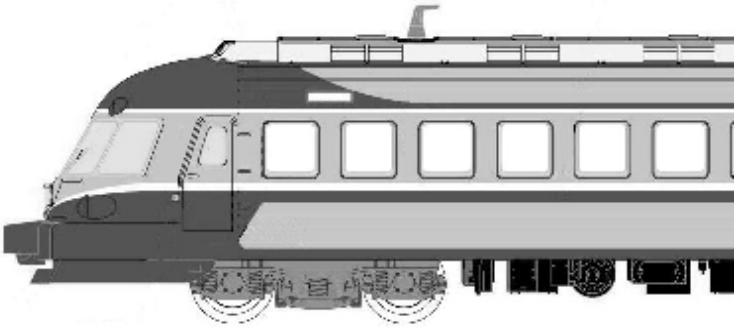
平成　　年　　月
株式会社　マイクロエース
製品の仕様・価格・発売時期は予告なく変更する事がありますので、予めご了承願います。

A2151	小田急ロマンスカー3000形 第1編成 8両セット	予価:22,800円(税別) JANｺｰﾄﾞ:117514 ｶｰﾄﾝ内入数:12
A2152	小田急ロマンスカー3000形 （改造後） 基本5両セット	予価:16,800円(税別) JANｺｰﾄﾞ:117521 ｶｰﾄﾝ内入数:12
A2155	小田急ロマンスカー3000形 （改造後） 増結5両セット	予価:13,800円(税別) JANｺｰﾄﾞ:117781 ｶｰﾄﾝ内入数:12



A2151



A2152, A2155

速報

3000形SE車 8両セットは同時に小田急電鉄株式会社からも発売されます。
「小田急ロマンスカー3000形 狭軌世界最高速度記録樹立車 第二編成 8両セット」
特製パッケージ・車両カタログ付属予定。当社製A2151とは車両番号が異なります。
詳しい内容については小田急電鉄株式会社からの正式発表をお待ち下さい。

商品形態	Nゲージ塗装済完成品 （素材:ABS樹脂製　対象年齢:8歳以上　ブックケース入り）
実車	流線型のフォルムに低重心の斬新なスタイルで1957年に登場した小田急ロマンスカー・SE(3000形)は、1959年までに8両4編成32両が製造されました。SEとは、"Super Express"の略であり、超軽量高速高性能特急車の先駆けとして、国鉄の特急こだまや新幹線の誕生の基となった車両です。1957年9月に東海道線大船～沼津間で行われた高速度試験において145km/hという当時の狭軌最高速度記録を樹立しました。その後、実車は1968年の国鉄御殿場線電化に伴い、5両6編成への編成替えが行われ、重連運転に対応できるよう、前面デザインを大きく変更する大規模工事を施工しました。短編成となったSE車はその編成長からSSE(Short Super Express)車とも呼ばれ、1991年3月、後継の20000形RSE車の登場により全車が引退しました。現在は海老名検車区に5両中2両が登場当時の塗装・形態に復元され、静態保存されています。
商品概要	・マイクロエース私鉄特急シリーズの更なる充実。 ・小田急初代ロマンスカー 3000形SE・SSEを待望の製品化。 ・複雑な前面形状やアルミサッシが並ぶ側面窓、沢山の側面リブ等、特徴を余すことなく再現。 ・A8157・小田急3100形で実績がある通電機能付き連接部品を採用。 ・実車に則して低い車高を再現。 ・ヘッドライト、テールライト点灯。LED採用。A2152、A2155はON-OFFスイッチ付き。 ・A2152とA2155の連結用に、新開発の密連型カプラーを採用。 　密連型カプラーを使用しない時には実車同様の形状をした連結器カバーへ簡単に交換出来ます。 ・黒染め車輪採用。 ・室内にはトイレの仕切りや喫茶室の調理台、運転台などを再現。
A2151	・3000形SE車、栄光の第一編成登場時を再現するセット。 ・非冷房仕様。ヘッドライトが鼻先に2灯付けられた原型前面。 ・部品共用により床下機器形状は一部実車と異なります。 ←新宿・片瀬江ノ島　藤沢・小田原→ デハ3001 デハ3002 デハ3003 デハ3004 デハ3005 デハ3006 デハ3007 デハ3008 ←ライト　モーター　ライト→ 小田急電鉄商品化申請中
A2152 A2155	・3000形「あさぎり」時代、延命工事前の姿。 ・冷房改造により形状変更された屋根ルーバーを再現。 ・サボ受、号車札受、信号煙管を別部品で再現。 ・小窓化された喫茶室窓を再現。 ・側面窓や屋根上クーラーは、SSE車化改造当時の形状。 ・列車無線アンテナが取り付けられた1970年代末期の姿。 ・基本セットと増結セットを組み合わせる事で、多客時の10両編成を再現可能。 ・基本セット同士の連結も可能。 ←新宿・片瀬江ノ島　A2152 基本5両セット デハ3001 デハ3002 サハ3003 デハ3004 デハ3005 ←ライト　モーター　ライト→ 御殿場・藤沢・小田原→　A2155 増結5両セット デハ3021 デハ3022 サハ3023 デハ3024 デハ3025 ←ライト　ライト→ 小田急電鉄商品化申請中
付属品	行先ステッカー1枚